



遠隔授業 「国際看護学」 2010 実践報告

長野県看護大学 国際看護学講座
宮越幸代

高等教育コンソーシアム信州
第4回FDフォーラム 2011年3月14日(月)

2010年度遠隔授業 「国際看護学」 のねらい

(前期毎週金曜日第Ⅱ限計15回;2単位)を配信

本学では学部3年次の選択科目で、4年次の「国際看護実習」の先修要件

1. 国際看護の実践に**必要な基礎的知識**を学び、国や地域、文化や人種など**あらゆる違いを超えた看護の実践方法を考える** (開発途上国を中心とした国際協力)
2. 国際看護における**具体的な状況判断が必要な事例を検討し**、既習の知識や技術、これまでの経験をもとに、**国際看護の実践について説明できる**
3. 国や地域、文化や人種など**あらゆる違いを超えた看護の経験を活かす可能性を考える**

- ・ 国際保健医療に関する基本的な知識を確認しながら、国際保健医療における看護の役割および具体的な実践方法など、豊富な**事例を元に、解説・意見交換(ゼミ形式)できる授業とする**
- ・ 学生のレポート(発言も)や評価においては、**授業で学んだことを元に、自分の考えを根拠と共に説明できることを期待する**

めざしたのは

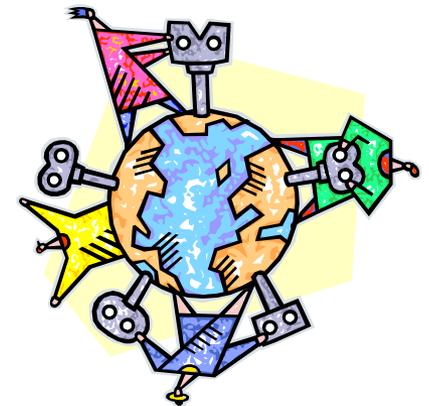
国際保健医療に関する基礎的な知識・技術に加え、幅広い視野で対象をとらえ、国際看護が実践できる基本的な力をつけること

背景:

2008年改正新看護基礎教育カリキュラムにおいて

「看護の統合と実践」分野 が新設

内容:「**国際的な広い視野に基づき、看護師として諸外国との協力ができるような看護師を養成すること**」
が明示され、求められるようになった



遠隔授業でこの学習目標を
効果的に果たすことに挑戦!

1. 基礎的な知識を学習する

ねらい1. 国際看護の実践に**必要な基礎的知識**を学び、国や地域、文化や人種など**あらゆる違いを超えた看護の実践方法を考える**（開発途上国を中心とした国際協力）

授業の項目例：

国際看護の定義

国際的な視野で実践できる看護が求められる背景

国際看護の場と対象；開発途上国の定義と分類

国際協力の実施期間と方法；政府開発援助・NGOなど

国際協力の原則

国際保健医療協力の実際例と具体的な連携 など

2. 国際看護について説明する

ねらい2: 国際看護における**具体的な状況判断が必要な事例を検討**し、既習の知識や技術、これまでの経験をもとに、**国際看護の実践について説明できる**

導入

NHKのテレビ番組ビデオ視聴後の感想レポートの提出・共有⇒**意見交換**
「**国際貢献を目標に、看護師になることをめざすある女子高生**」

展開

途上国での看護活動や看護判断が求められる場面に関する**事例検討**

- ・海岸の診療所
- ・先住民への健康教育
- ・点滴の挿入と管理方法を学びたい伝統的産婆

海外の看護場面や看護技術の実際(画像・映像視聴)と**意見交換**

- ・傷処置 ・ベッド上での洗髪 ・注射 ・着衣で保育器に入った乳児人形
- ・国際協力活動の派遣先で行われていた看護と日本の違い

(履修生が話題提供・授業実施者は信大から司会進行)

日本国における外国人看護師との協働に関する**意見交換**

まとめ

国際看護に携わる将来的展望と期待に関する意見交換(信大履修生が本学に来学)

意見交換に対する履修生の反応

- 異なる学年や学部生の異なった視点での意見を聞く目を見張る意見に、身を乗り出す者も続出！？
⇒履修生が、特に意見交換に関心を寄せていることがわかってからは、知識提供を少なくし、なるべく発言・意見交換の時間を多くした



履修生が意見交換を楽しみにするようになる

- 信大学生の質とモチベーションが高く、本学学生を刺激
⇒マイクを向けると必ず自分の意見を言う、集中して聴く
- 指名制にするとモニターを超えて履修生同士が指名しあい、自分以外の意見を自分たちで活発に掘り起こす

意見交換に対する履修生の意見

中間評価結果

Q;この授業を引き続き学びたいと思うか？

A;「大変そう思う」

- ・少人数での他大学との授業により、様々な意見交換ができる
- ・分からないことがその場で質問でき、自分のペースにあった学習ができる

Q;「本授業に期待したこと」がどの程度「満たされているか」

A;「満たされている」「大変満たされている」

- ・意見交換ができる
- ・海外の看護実践に関する実際の写真や動画が見られる

意見交換に対する履修生の意見

自由記述など

- 自分たちとは異なる学年や学部生の異なった視点での意見に「驚いた」、「感動した」(複数意見)
- 他大学との学習はとても有意義で色々な意見を聞けたり、視点も広がる

- たまに意見交換のテーマがわかりづらかったため、困ってしまうことがあった(写真が不明瞭な時など)
- できれば2時間続きの授業の方がより内容が深まった
- 最後の授業では、先生がまとめずに自由意見をそのまま受け止めたら良かった
- 最後の意見交換では、時間がなかったのと、たくさんのテーマが混在し、納得がいかなかった

意見交換を取り入れた遠隔授業

- 進行やとりまとめなどの**授業実施者の授業運営能力の向上**が求められる
- 同時に、**遠隔授業システムの運用に熟練すること**で、意見交換を取り入れた遠隔授業の効果はさらに発揮される⇒国際看護学の学習目標達成

国際保健医療に関する基礎的な知識・技術に加え、幅広い視野で対象をとらえ、国際看護が実践できる基本的な力をつけること